

恩

近況

宮川 亮一

(数学・物理担当) 昭二十三―三十五

私が三田高校にお世話になつたのは昭和二十三年から三十五年まで私が三十才のときから四十二才まででした。割合長い期間で思い出もたくさんあります。最近卒業生諸君のクラス会などに出て、みなさんが私が考えたよりずっと、ちゃんとやっていたら嬉しいやらのをみて、大変よろこんでおります。日本の経済成長の波にのつたということもありますが四年間、昼の職場、夜の学校に耐えた根性が物をいっていると思います。最後に私の近況を報告させていただきます。

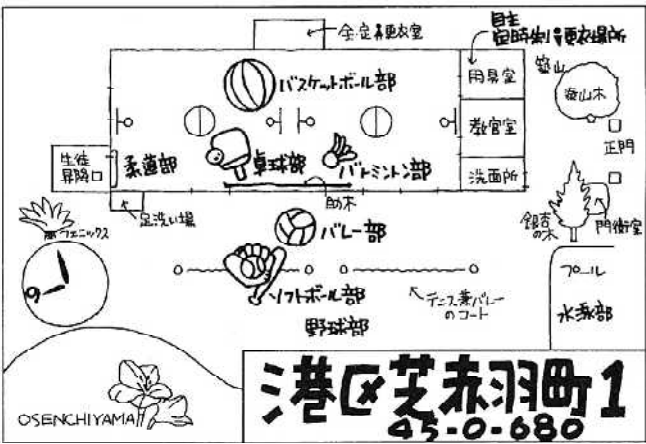
後の一週五日は家で、Zozomaやペーパーバックを大々きく読みながら読んでいます。世界の政治、経済に通じたような気になっているのも楽しいです。海外観光旅行にも何回か出掛けました。アメリカや西ドイツには三田や高専の卒業生が永住していらつしやるので一度訪ねたいと思つてます。

港区芝赤羽 一番地

いとつ・せつこ

(保健体育担当) 昭二十四―四十四

先生は、越路吹雪が死にました。今年、五月、夕方の池袋駅の雑踏の中で、背道の田辺豊光



いるんですか。彼女の唄を聞いてみると、三田の頃の自分を思い出します。先生のお年が気になるので電話しました。三児の父親になっていて、去年秋、十一年七日夜のこと。いとくもものは、ときを経た再び見まじきものを。もう、十二年前――走りながらの「今晩ワノ」がなくなつた時、一生分の夜の挨拶をしつづけたようので、気が細くなりました。夏・夜になるとでてる偏頭痛が、二十年間のプール後遺症、自立神経失調症と判明したのもその頃でした。

生をみました。杖を片手にベレー帽、私の名は出ませんでしたけれど、週に二日は入学に御出講の出、別れ際の「お声をかけて下さつて、ありがとう」の挨拶が残りすぎた、私の年令は昔から昭和と同じでございませう。もう、十二年前――走りながらの「今晩ワノ」がなくなつた時、一生分の夜の挨拶をしつづけたようので、気が細くなりました。夏・夜になるとでてる偏頭痛が、二十年間のプール後遺症、自立神経失調症と判明したのもその頃でした。

港区芝赤羽一・電話四五〇六八〇―都立第六女子高校―鈴木校長から、百田・今野・西村実方先生と五代の学校長の下に二十年……いろいろのことがありました。いろいろのことを、してきたものです。

一昨年、芝赤羽一番地は、三田署共ども、跡をのこさず二田一丁目四番地四六号となつていました。ラライイ・港区芝赤羽一番地×××あの頃―青春春・「やりましたよ」あの汁言葉ににならない育ち方、青春を払つた仲間、寂寥でありました。

語

で今一人の私と出会う。よくみると、かけらばかりのようだけれど、赤羽一番地往來の道、ち・り・ぬ・を、を、の思い出は、私の青春・芝赤羽一番地への、鎮魂歌でもあるようです。昭和五十六年・秋

追憶 北原 安門 (社会地理担当) 昭二十七―三十二 (現・桐朋学園高校)

中国黒竜江省鉄力の丘にたつた十二名の人々、それは広島県の人々である。四十年前、この丘に、原始林や草原を切り開きながら、隊舎を建設した場所、冬に向うというのに、北緯四十七度という位置のことも分らず、広島の冬を考えての隊舎づくり、当然寒くて、布団にくるまっていても、ひとつも暖くはならない。暖をとるために薪を取りに行つても、指が凍つてしまかかない。凍つてしまつて、急速に動かしたり、あたためたりすると、指が切れてしまふ。ゆっくりと筆紙に尽くし難い生活、でも同郷の友人が居るのだ、十五や十六才という青春を、広漠たる大地の開発に捧げた人々が、大隊本部のあつた丘に立っているのだ。

小高い丘から西南に向う一筋の道、それは鉄山包駅への道、くつきりと緑の中をのびた道が、今はどうだろう、人口七万のまちに姿貌、家並が、そして、どうもろこしや大豆畑が展開して、探しても昔の面影は遠い彼方に消えてしまつた。でも懸命に、四十年の空白を埋めようと努力したが、大

隊本部の所在地は判明せぬままに、この丘を去つた。でも三年間住みながら中隊の所在地は、かすかにその位置をとどめている。一緒に生活している間に、若くして、この地に骨を埋めた友人の霊に、日本から持参した酒を捧げ、黙禱した。

ハルビン、チャムスの町に、そして列車の中に、四十年前開拓訓練所の生徒として、開拓団の一員として、また、炭鉱の鉱夫として、幸甚を共にした人々の集団がある。八度目の訪中は、今迄の中国の文物に接し、また、中国の働く人々と交流し、中国の実態に少しでもせまらうと努めたものであつたが、今回は違う。同世代の人々が、政策は何であらうと、青春をぶつつけた大地を、それが余りにも衰り果てた姿を探る旅であつた。でも、過去をどがめだせず開放してくれた現地の人々に深甚の謝意を表したい。

先生の移動 ○川上園子先生(社会) 昭四十七年着任 羽田高校全日制へ転出 ○兵藤博信先生(理科) 昭五十四年新任 昭和五十四年新任 カナダトロント大学へ留学

寄付者ご芳名 ○寄付金

久保先生 石岡先生 出村先生 福永みづ子 貝塚久子 佐藤悦子 坂本千代子 中村一男 竹内恵子 上村文子 佐々木喜治 佐藤とし子 石田弘弘 古谷弘弘 佐久間かつみ 海野順勝 村瀬敏子 中村美代子 内山恵一 肝付悦子 神崎敬子 大平観光(株) 昭29年卒同期会 ○バザー物品

阿久津真次 佐藤道雄

寄付者ご芳名 ○寄付金